

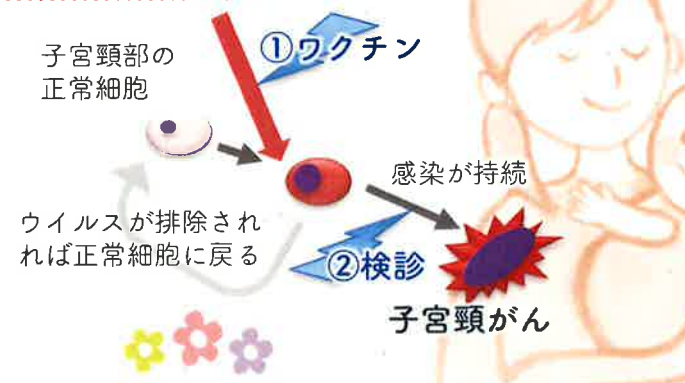
大人になる前のあなたに大切なワクチンがあります

若い女性に子宮頸がんが増えています

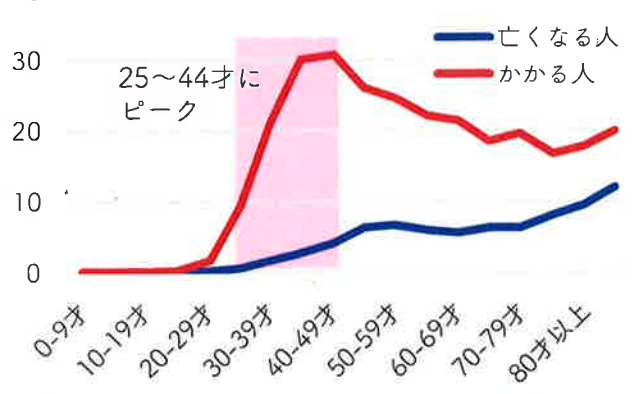
- ✓ 毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約3000人が命を失っています。
- ✓ とくに、妊娠・出産を考える20～40才代でかかる人が増えています。

子宮頸がんの原因はヒトパピローマウイルス(HPV)の感染です

性交渉によりHPVに感染
(機会があれば何度でも感染)



子宮頸がんの10万人あたり人数
(2014年 国立がん研究センター)



- ✓ 性交渉により8割の女性がHPVに感染します。自然に排除されることが多いのですが、生涯で全女性の約73人に1人が子宮頸がんにかかります。(2014年 国立がん研究センター)
- ✓ 子宮頸がんは**予防と早期発見が必須**です。
 - ①子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン) 予防できるのはワクチンのみです!
 - ②子宮頸がん検診 早期発見・早期治療にとっても重要です。

ワクチンのメリット (子宮頸がん予防効果)

- * HPVワクチンで子宮頸がんの6～7割が**予防可能**です。
- * HPVワクチンを12～13才で接種している**世界各国**で、その後子宮頸がんにかかる女性が**着実に減少**しています。
- * 最近**日本**でも、非接種者より接種者の方が子宮頸がん検診での**異常が52～88%減少**したと報告されています。(宮城・秋田)

VS

ワクチンのデメリット (接種後に起こりうる症状)

- * HPVワクチンによる副反応として、**接種直後のふらつき、注射部位の痛み・腫れ、発熱**などがみられることがあります。
- * 接種からの期間を問わず副反応が否定できない**症状(有害事象)のひとつとして、広範な痛みや様々な身体症状(機能性身体症状)**が報告されています。
(接種しなくても同様の症状を訴える人が同じくらい存在するとの報告があり、ワクチンとの因果関係は不明です。)

ワクチンをよく知って接種しましょう

- HPVワクチンは、定期予防接種として**小6～高1の女性は無料で接種**できます。(各自治体窓口、もしくはお近くの小児科・産婦人科へお問い合わせください)
- 接種の意義については、保護者だけでなく**ご本人にもご理解いただく**ことが大切です。かかりつけ医とよくご相談の上、接種されることをお勧めします。
- 万一の副反応への医療体制も整っております。(富山県は富山大学附属病院)
- HPVワクチンに関する情報は右側のQRコードでもご覧いただけます。



厚生労働省HP 日本産科婦人科学会HP

富山県医師会・富山県産婦人科医会・富山県小児科医会